

科学研究費助成事業 研究成果公開促進費 国際情報発信強化（平成29年度採択分）  
「木材学分野における国際的基幹雑誌を目指す取り組み」  
（課題番号：17HP2005）

学術団体名：一般社団法人 日本木材学会  
学術刊行物の名称：Journal of Wood Science  
事業期間：平成29（2017）年度～令和3（2021）年度

## 1 取組の概要

### ・取組内容の特徴と目的、意義及び方法

本申請における取組の目的は、これまでの取組を一層発展させ、世界最先端並びにわが国独自の木材学関連情報を英文により世界に強く発信すると共に、「JWS」誌の完全オープンアクセス化により世界の木材学関連の第1位の基幹雑誌に発展させることである。

### ・応募時に設定した取組の目標・評価指標

- 1) 「JWS」の完全オープンアクセス化とIF2.0に向けた取組
- 2) 国際シンポジウムの開催及びその支援。その成果を取りまとめ、英文総説として掲載。
- 3) 和文情報の「JWS」英文総説化と投稿経費無料化及びオープンアクセス化
- 4) 和文誌の抄録の英文化と「JWS」への掲載

## 2 目標の達成状況

### ・現在までの目標の達成状況

平成31年1月からのJWS誌のオープンアクセス化に伴う影響はまだ明確には現れていないが、これに先んじた優秀論文のオープンアクセス化、また大規模国際学会の招致やJWS誌の活発なPR活動などを通じ、JWS誌のIF値は本科研費補助金申請時点での1.268から平成30年には1.523まで上昇している。平成30年以前のJWS誌掲載論文も、刊行後1年を経過した時点でのオープンアクセス化がなされることから、令和2年1月にはJWS誌掲載の全論文での完全なオープンアクセス化が達成される。

### ・今後の計画

JWS誌の完全なオープンアクセス化により、会員以外の読者からの掲載論文へのアクセスが格段に容易となったこと、合わせて過去の木材学会論文のJ-STAGE登録が進むことにより、多くの引用文献の参照もオンラインで可能となれば、JWS誌は極めて利用しやすい論文誌となることから、IF値のさらなる上昇、すなわち目標としているIF2.0の達成も決して難しくはないと思われる。